

大谷ヒロテンジ（広島県三原市）は、UV LEDを用いた除菌脱臭灯「LED照明の「ヴィルド365」シリーズ」を製造・販売している。

2003年の設立当初より、LED照明の専業メーカーとして蛍光灯型・電球型LEDなどを展開。また、植物育成灯など特殊照明を開発・販売する事業者向けに、時代に先駆けてLED照明を提供してきた。一般照明が約30万本、超高演色照明が約3000本と多くの販売実績を誇っている。

代表取締役社長の竹田昭典氏は「当社の強みは開発の目線。3年前に日本で新型コロナ



カネヒロデンシ
代表取締役社長
竹田 昭典氏

日本初 UV-Aを用いた
除菌脱臭灯 LED照明

◆「ウイルド3」置き型の期間に3年を擁する事ができる。これは設置されています。ドーム灯た。「ウイルド3」想定している。（竹田氏）

の期間に3年を擁する」ことができる」とを想定している。た。「ワイルド365」シリーズの耐用年数も長い。他社UV製品が3000VAを用いて空間の除菌・脱臭を行う点だ。

「ワイルド365」は5倍以上だ。ボト限は「」「」
二つ星の時間。

LEDは当初、

◆「ワイルド365」 置き型の期間に3年を擁した。「ワイルド365」シリーズの大きな特徴は、UVAを用いて空間の除菌・脱臭を行う点だ。紫外線は「UVA」「UVB」、「UVC」の大きく3種類に分けられ。中でも「UVA」は太陽光に近い波長をもつて、これが蔓延し始めて、『未知』が特徴で、同社の製品は、屋内を緩やかに存が余儀なくされるのだと、当時の専門家の想だ。これらUVは、ウイルスの不活性化に一 方々の言葉を聞いて実感しました。長年当社役買うことが期待され ているが、バイオメデ

耐用年数も長い。他社UV製品が3000～5000時間程度であるのに対し、「ワイルド365」は5倍以上 の25000時間。「導入コストが高い」「品質が安定しない」ため、人体に影響を与えると同時に除菌・脱臭することができる、安全性の世界標準とされる基準値もクリアしている。

『ワイルド365』は他の除菌脱臭製品と比べて導入費用も安く、メンテナンスの手間もいりません。反響は大きく、販売台数はシリーズで累計400台だ。政府は2030年度までにすべての照明のLED化を目指す指針を発表している。LEDは当初、「品質が安定しない」との理由から蛍光灯を切り替えたのがなかなか進まなかつたとも言っていた。一方で、今は、電気代の高騰によっての喫緊の対応課題となっている。省エネ性能が高いLEDに、感染対策が付帯したカーネヒロデンシの「ワイルド365」。一層のところに設置されています」（竹田氏）



**根強い需要続く除菌・消臭製品
SDGs・防災対策の一拳両得も**

の技術を通して、私たち
ならではの感染対策製
品ができるいかと試行
錯誤。開発したのが
『ウイルド365』シリ
ーズです」と話す。卓
シリーズ展開は「卓
上型」、「壁付型」、「直
管型」。
「電球」
し、生活に安心を加え
る
イカルサイエンス研究
会の試験結果から、当
社製品を10分照射する
と約77%、30分照射で
約93%のウイルス不活
化に成功。『ウイルド
365』では空間に光
がいきわたることで付
着ウイルスにも作用
があります。玄関やト
イレなど、人の出入り
やにおいが気になると
0個に上ります。導入
場所は宿泊施設やアミ
ユーズメント施設をは
じめ、特別養護老人ホ
ームや飲食店、個人宅
まで広範囲です。オフ
イスビルへの導入実績
についていると言えよう。